

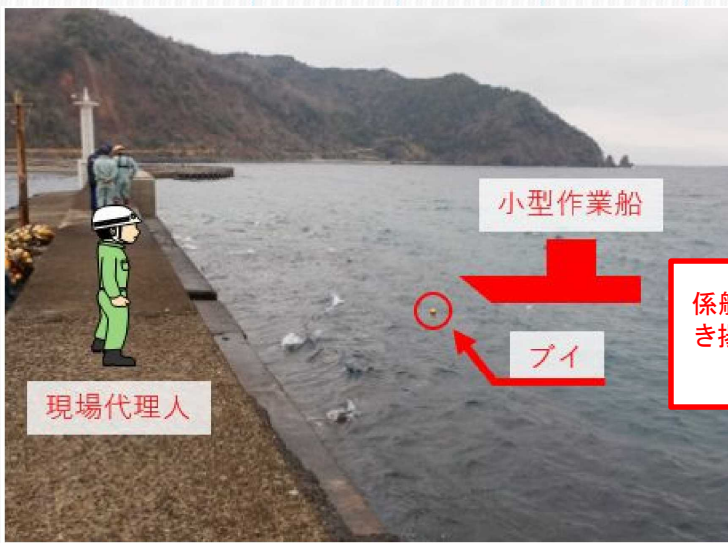
工事事故防止行動計画 ニュースレター

工事事故「0」を目指して

今回は、1月に発生した防波堤工事での事故の紹介です。挟まれ・巻き込まれ事故は、工事関係者の傷害事故の中でも、令和3年度では8件と多く発生しており、注意が必要です。今年度も事故事例や事務所独自の取組など情報を発信し、工事事故の防止を図っていきますので、よろしくお願いします。

作業員が係船用ワイヤーの輪を直接握り、 ワイヤーとビットの間に指を挟まれる

【令和4年1月26日事故発生】



事故概要

・起重機船を固定するための係船用ワイヤーの状態を確認する作業中、波で船が揺れたためワイヤーとビットの間に左手の指3本を挟み負傷した。

事故原因

- 原因① 係船作業について法令、指針等で明確な作業手順が示されていないため、OJT等により安全教育・訓練を行っていたが、明確な危険箇所の洗い出しがなされてなかった。
- 原因② ビットからワイヤーを外す際、ワイヤーの輪の部分の直接握ってしまったことで、事故につながりやすかった。
- 原因③ 現場代理人は、現場の防波堤上にいたものの、“本作業は準備作業”との認識があり、作業員同士に任せきりとなってしまう、未然に事故を防げなかった。

本年度すでに2件の工事事故が発生しています。注意してください。

交通基盤部 土木工事 事故発生件数	事故分類	工事関係者(傷害)	第三者(傷害)	第三者(物損)	工事事故合計	令和4年 4月末現在 (前年同期)
	件数	0件(1)	0件(0)	2件(1)	2件(2)	
		0件(1)	0件(0)	2件(1)	2件(2)	

再発防止策

再発防止策①

事故防止対策を記載した作業手順書を作成し、作業手順を現場関係者全員に周知徹底する。

また、各自が「ヒヤリ・ハット」した場合は、その都度作業手順を見直し、再度作業員に周知徹底する。

再発防止策②

作業員がワイヤーを直接握らないよう補助ロープを取り付け、ビットへの取り付け・外しの際は補助ロープを使用する。



再発防止策③

防波堤上の現場代理人は、係船作業の監視を徹底する。

現場代理人はトランシーバー又は拡声器を携帯し、危険を感じるようなことがあれば、船上の作業員に知らせる。

